

葉面散布用肥料 サンピシリーズ

●包装	アミノサンピ	6 kg×4缶／ケース	12kg×2缶／ケース
	サンピ833	1200g×12本／ケース	6 kg×4缶／ケース 12kg×2缶／ケース
	ニューサンピ833	12kg×2缶／ケース	
	サンピプラス	1 kg×10 袋／ケース	

作物は根のみならず葉面からも養分を吸収する能力をもっています。その吸収能力を利用して必須要素をはじめ一般に欠乏しやすい微量元素を補給するために葉面散布により施用する肥料がサンピシリーズです。これにより、増収や品質向上などが期待できます。

「サンピシリーズ」には、アミノサンピ（10-3-3+微量元素+アミノ酸）、サンピ833（8-3-3+微量元素）、ニューサンピ833（8-3-3+微量元素+有機酸+糖分+アミノ酸）、サンピプラス（0-46-30+苦土）の4種類がありそれぞれの用途に応じて使用してください。

【サンピシリーズ一覧】

アミノサンピ
生第 69149 号



サンピ 833
生第 57791 号



ニューサンピ 833
生第 79678 号



サンピプラス
生第 57790 号



[成分組成]

製品名	区分 成分	保証成分（％）						配合成分（％）				
		窒素	りん酸	加里	苦土	マンガ	ほう素	石灰 (Cad)	鉄	銅	亜鉛	モリブデン
アミノサンピ		10.0	3.0	3.0	2.0	1.00	0.50	1.0	0.40	0.05	0.05	0.10
サンピ833		8.0	3.0	3.0	2.0	1.00	0.50	1.0	0.40	0.05	0.05	0.10
ニューサンピ833		8.0	3.0	3.0	1.0	0.100	0.100	0.5	0.12	0.05	0.05	0.05
サンピプラス		－	46.0	30.0	1.0	－	－	－	－	－	－	－

アミノサンピ・サンピ833には糖分、有機酸等が含まれています。
ニューサンピ833には糖分、有機酸、アミノ酸、ビタミンが含まれています。
サンピプラスには糖分が含まれています。

[サンピシリーズの特長]

- 1. 植物に必要な栄養分がほとんど含まれており、健全育成や各種障害の回復に役立ちます。
- 2. 糖分・有機酸の働きによって、植物の呼吸作用を助け、微量要素の植物体内移動を良くします。
また糖分、有機酸は生育のためのエネルギー源としても有効です。
- 3. 糖類、有機酸、アミノ酸およびビタミン等の働きにより、収穫後の樹勢回復が促進され、作物の品質向上が期待できます。
- 4. りん酸、加里が補給でき、果実肥大期や生殖生長期に特に有効です。（サンピプラス）
- 5. カルシウムが添加されているので、作物の細胞を強化します。
- 6. 種々の要素欠乏症の予防と回復が期待できます。

[葉面散布が特に必要とされる場合]

- 1. 要素欠乏や肥料間の拮抗作用で吸収できない時
- 2. 果菜類の収穫盛期の栄養補給
- 3. 根の障害により肥料を吸収できない時
- 4. 微量に肥料を効かせたい時、遅くまで肥効があると悪い場合
- 5. 早く肥料を効かせたい時
- 6. 冷害・霜害・ひょう害や風水害による被害を回復させる時
- 7. 長雨等による日照不足の時
- 8. 果樹などのお礼肥

【作物ならびに生育ステージ毎の推奨品目と使用方法の一例】

作物名	散布時期	目的と効果	希釈倍数(倍)	推奨品目
果 菜 類	育苗期	健苗育成	1000～1500	サンピ833
	開花～収穫期	樹勢向上 尻腐れ防止	750～1000	ニューサンピ833 アミノサンピ
葉 菜 類	育苗期	健苗育成 樹勢向上	1000～1500	サンピ833
	定植～収穫期	品質向上 貯蔵性向上	750～1000	ニューサンピ833 アミノサンピ
根 菜 類	生育初期 肥大期～収穫期	樹勢向上 収量増加 貯蔵性向上	750～1000	サンピ833 ニューサンピ833
果 樹	開花前～摘果前 果実肥大期～収穫前 収穫後	新梢身長 幼果肥大 収量増加 樹勢向上 品質向上 樹勢回復 寒害対策	750～1000	サンピ833 ニューサンピ833 アミノサンピ サンピプラス

【使用方法】

1. アミノサンピ、サンピ 833 及びニューサンピ 833 は土壌の状態、作物の生育ステージなどを考慮して適宜使い分けてください。
2. サンピプラスはりん酸・カリの強化剤ですので生育状況に応じてアミノサンピ、サンピ 833 又はニューサンピ 833 に添加してください。
3. 単用散布する場合、500 倍～1500 倍で使用してください。
4. 育苗時に灌水などで多量使用する場合、1500 倍で使用してください。
5. 農薬混用散布する場合、1000 倍以上で使用してください。

【使用上の注意】

1. アルカリ性の農薬やアルカリ資材とは混用しないでください。
2. 農薬と混用する場合は、1000 倍以上に希釈して使用してください。
(展着剤を添加する必要はありません)
3. 石灰硫黄合剤と混合すると有毒ガスが発生する恐れがあり危険ですから混用しないでください。
4. なし(幸水)への使用は避けてください。
5. 眼に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
6. 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
7. 肥料以外の用途には使用しないでください。

【貯蔵上の注意】

直射日光を避け、幼児等の手の届かない冷暗所に保存してください。